



国際会長 (IP) Moon Sang Bong (韓国)

“Yes, we can change” 「私たちは変えられる」

“Courage to challenges” 「挑戦への勇氣」

会長 古田 和彦
副会長 古賀 健一郎
書記 金子 功
会計 伊藤 誠彦
直前会長 金子 功

アジア地域会長 (AP) 田中 博之 (東日本区)

“Action” 「アクション」

“With Pride and Pleasure” 「誇りと喜びを持って」

東日本区理事 (RD) 宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)

「為せば、成る」

“No challenge, No fruit”

湘南・沖縄部部長 (DG) 佐藤 節子 (厚木)

「心を元気に きずなを深めあえるワイズをめざそう！」

横浜クラブ会長 (CP) 古田 和彦

「YMCA、ワイズメンと共に！」

“With YMCA, With Y's Men”

監事 松島 美一
ブリテン 古賀 健一郎
担当主事 青木 一弘

<今月の聖句>

大江 浩

「イエスは町や村を残らず回って、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、ありとあらゆる病気や患いをいやされた。また、群衆が飼い主のいない羊のように弱り果て、打ちひしがれているのを見て、深く憐れまれた。そこで、弟子たちに言われた。『収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるように、収穫の主に必要なさい。』」

(マタイによる福音書 9章 35節~38節)

「令和最初のホームラン」を巨人選手が打ったと浮かれる巨人ファン。DeNAファンは「令和最初の横浜のホームラン」でも祝うか。

皆が一方向に向かうとき、それに従わない〜そ曲がりの存在は社会の健全化に必須だと思うが、同調圧力に抵抗するのは結構難しい。この時代にも女系宮家、女性天皇、女系天皇について論ずる事は、天皇制の長期維持を願う面からも必要な事と信ずるが、あえてそれを言う人は少ない。こうして時代に流されつつ10連休を過ごしてしまった。

<2019年4月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
13名	メン 8名 メネット 0名 コメット 0名 ビジター 0名 ゲスト 1名 合計 9名	69% (メーキャップ 1名含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 2090g 現金 1258円

今月のひとこと

「天皇代替わりに思う」

松島 美一



大袈裟に言うと史上初の10連休が終わろうとしている5月6日、本稿を書いています。

祝日、休日と言っても私にとっては普段と何も変わらない家事と妻の介護の日々です。普段外出の難しい身にはTVが社会の出来事を紹介してくれるのですが、連休中のTVは「改元」だ「退位」だ「即位」だとお祭り騒ぎ、それに操作されている人々(一時代前は「臣民」と呼ばれた)の乱痴気騒ぎを延々と写し出しています。

退屈してチャンネルを変えても同工異曲のハシャギ番組。「平成最後の」の騒ぎが終わった翌日は早速「令和最初の」が始まった。

<5月の行事予定>

強調月間「EF/JEF」

日	曜	時間	行事内容	場所
9	木	17:00	第二例会	中央Y
18	土	17:30	とつか25周年記念会	とつかY
24	金	13:30	第一例会(横浜つづき	富士山Y
25	土	-10:30	と合同)	
25	土	17:00	横浜Y会員総会	とつかY

「4月第一例会報告」

大高 治

日時 : 4月11日(木) 18:30~20:30

場所 : 横浜中央YMCA 606号室

出席者: 青木、伊藤、今村、大江、大高、金子、田口、古田
ゲスト; 井藤直人氏(横浜Y健康教育 卓話者)

金子ワイズの司会で開始。古田会長による開会点鐘、挨拶に続き、ワイズソング、ワイズの信条を唱和。古田会長による聖書朗読の後、本日のゲスト、卓話者である井藤直人氏の紹介。古田会長による食前感謝の後、食事。

食事の後は井藤さんによる「横浜中央YMCA健康教育事業について」と題する卓話。井藤さんは横浜YMCAの最大部門、健康教育の責任者だ。

卓話は「ウェルネススポーツクラブ 成人プログラムガイド」「キッズウェルネスプログラム」の二つの資料も参照しながら、中央Yの施設の紹介をはじめ、成人向け、キッズ向けの健康教育プログラムの紹介があった。

年間のプログラム在籍者数は中央Yのみで2,622名、内、一番多いのは幼児・小学生の水泳で1,223人が在籍。

井藤さんの話の後、健康教育の目的をより明確にしてはどうか、との提言の他、ワイズメンズクラブが協力できる分野は、とか、健康教育指導の分野で有名な選手は、とか、いろいろ質問が出された。

ワイズが貢献できそうな分野としては、ポスター等資料作成の資金援助、公益事業、活動に対する資金的支援。有名な選手に関しては、競技よりも健康管理を目的としているが、ジュニア水泳大会に出ている子供がいたり、サッカーでは日



本代表が出た。また、体操では白井健三選手の先輩で、良い指導員がいる。などと説明があった。

卓話の後はビジネス。

1) 次々期部長候補者の推薦

古田ワイズが一定の条件下、引き受けることに各位同意した。部書記等は当クラブから出し、応援体制を整える。

2) 5月第1例会は横浜つづきクラブと合同で開催する。

3) 6月の例会は今年度の反省の下、次年度の計画・予算概要の話合いをする。第1例会で意見を聞き、第2例会でまとめる。終了後、外部で懇親会を開く。

4) ロースターの件は4月20日の部評議会で議題として取上げられる。クラブとしてのロースターの購入は5部とする。

5) 東日本区大会(6月1~2日、オリンピック記念青少年センター)には青木、金子、田口、古田ワイズが参加予定。

6) アジア太平洋地域大会(7月1~2日、仙台)には大高、金子、古賀ワイズが参加予定。

7) ブリテン編集でお手伝い頂いた横浜YMCAの坂本さん(4月退職)に謝意を示す粗菓を差上げることにする。

8) 次の例会から会場は8階になる。

今月のロバ献金は¥8,000でした。

「第3回部評議会報告」

金子 功

日時: 2019年4月20日(土) 14:00~17:30

場所: 横浜中央YMCA 801教室

第3回湘南・沖縄部評議会は、堀田哲郎部書記の司会により、佐藤節子部長の開会点鐘・挨拶、ワイズソング・ワイズの信条唱和、青木部担当主事の聖書朗読・開会祈祷をもって開始された。当日の出席者は19名、委任状提出者を加えて会議の成立が司会者により報告された後、佐藤部長を議長として以下の議案が協議された。

- 1) 第2回評議会の議事録が提案通り承認された。
- 2) 次期部役員が以下の通り提案され承認された: 書記および会計兼務; 伊藤康一(沖縄)、地域奉仕・Yサ事業主査; 岡田勝美(つづき)、会員増強事業主査; 山田一男(八景)、国際交流事業主査; 大江浩(横浜)、ユース事業主査; 伊藤康一(沖縄)、エクステンション委員会委員長; 辻剛(つづき)
- 3) 次期部監事として鈴木茂(つづき)が提案され承認された。
- 4) 次次期部長として次次期部長推薦委員会から推薦された候補者古田和彦(横浜)が日曜日には出席できない場合があることを評議会が了承することを条件に承認された。



第3回部評議会の様子

5) 今年度のCS支援金の支給について、各クラブから申請額の合計額が部のCS協力金の合計額を大幅に超過することから、CS協力金の範囲内で調整した金額が山田地域奉仕・Yサ主査より提案され承認された。同時に次年度において当制度を見直すことが提案された。

6) 辻剛エクステンション委員長より、横浜つづきワイズメンズクラブの創設に伴い16万円の追加支援の要望があり、部の特別会計より支出することが承認された。

7) 東日本区が発行するロースターの編集・発行の改善について区役員会に湘南・沖縄部の総意として提起することが横浜クラブ古田会長より提案され承認された。具体的には、部内にクラブ会長を委員とする「ロースター検討委員会」(委員長古田和彦横浜クラブ会長)を設置し、検討結果を次回部評議会(6月15日)に答申することとし、部評議会での決議を経て次年度第1回区役員会に提起する手順が協議された。

議事終了後は堀田部書記の司会により第3回区役員会報告、クラブ会長報告、横浜YMCA報告がなされた。特記すべきは、本年のチャリティーラン実施日が例年の10月中ではなく11月16日(土)に予定されたこと、また、青木部担当主事がチャリティーラン事務局の責任者になるとのことであった。

横浜クラブ出席者: 伊藤、金子、古賀、古田の4名

「横浜中央YMCA2019年度 キックオフミーティング報告」

古田 和彦

4月4日(水)午後5時から7時30分まで、中央YMCA 8階ラウンジにおいて中央YMCA2019年度のキックオフミーティングが行われました。中央YMCA各部門の職員約60名に数名の運営委員とワイズメン2名が参加しました。中央YMCAは横浜YMCA最大の拠点施設であり、中央YMCAの本体建物以外にも周辺に事業を展開しています。

まず、生井館長から2019年度の基本聖句「仕えられるためではなく、仕えるために」(マタイ20:28)が説明され、今一度、それぞれの働きを確認し、会員、学生、園児等一人一人に寄り添い、その人たちの成長の場を提供していく働きを展開していこうとのアピールがありました。さらに、中央YMCAとして10の全体目標を掲げ、部門を越えて推進していくよう説明がありました。

続いて、①アフタースクール、②健康教育、③語学教育、④専門学校作業療法科、⑤専門学校日本語学科・国際情報ビジネス科、⑥中区地域子育て支援拠点「のんびりんこ」、⑦ライフサポートセンター関内のそれぞれの担当者から今年度の主な強調点が発表され、全体で共有することができました。

多くの活動分野を抱えているためなかなか一堂に会することが難しいのですが、和やかに軽食をいただきながら、全体で目標を共有し、互いに顔を合わせて確認できたことは大切な素晴らしいことと思われました。横浜ワイズメンズクラブは中央YMCAを支え、仕えるクラブであるとの思いを強くするひとときでした。

横浜クラブ参加者：齋藤、古田ワイズの2名

「近況報告 令和への期待」

大高 治



今から40数年前のことです。家内は生後4ヶ月の長男を連れてシカゴにやってきました。直ぐ小児科のドクターを見つけて主治医にするようアドバイスされました。米国ではその頃幼児虐待が社会問題の一つでした。倅の尻の青い斑点を見つけるや「お前たちがや

ったのか？」と強い口調で私と家内を睨みます。「これは蒙古斑点です。2~3年で消えます」。「学校で習ったが、初めて実物を見た」と言う。

それから2年、娘が生まれ、家内は二人を連れで私の郷里に里帰りしました。夏のことです。脛や腿に赤くはれ上がったブヨやアブに食われた痕が残っていました。シカゴに帰り、主治医を訪れるや、「これは何だ」とまたとがめられたのです。

このことを婦人会の活動等に熱心な従姉に話しをすると、「さすがはアメリカ。皆で監視し、子供達の安全を見守っているのだ」と感心するのです。恐らく婦人会の会合等で披露されたことでしょう。当時幼い子供を残して外出し、その間に火災が発生したり、バルコニーから転落するようなことが起ると、親は殺人罪に問われると言われていました。私たちは零下25℃の真冬でも子供たちを車に乗せて外出したのでした。

ところが、現在日本では幼児虐待、老人虐待、アポ電など振り込め詐欺のバリエーションが拡大し、学校でのイジメも

連日マスコミを賑わしています。弱者いじめの拡大です。

あれから40年、どうなっているのだろうか。アメリカに長く住む友人に聞いてみました。「幼児虐待など日本のメディアが報道しないだけで、アメリカでも頻繁に起こっています。ただ、それを指弾する意識はアメリカのほうが強いかも知れません。そのことは貴方が滞米中に経験した通りでしょう。そしてその強い意識が虐待の抑止力になっていることは確かです」という。友人は更に、「アメリカ人が日本に行って驚くことは、日本の幼い子供たちが独りで電車やバスに乗って通学していることです。これはまだ安全な日本だから出来ることですが、アメリカのような治安に問題がある国では、幼児虐待と見られます。学校が至近距離にある場合を除いて、アメリカでは幼稚園から高校生までスクールバスか、親の車に乗って通学しています」

今や立派な先進国の仲間入りしている韓国、台湾ではどうか。最近台湾駐在を終えて帰国した後輩や4月末の韓国旅行で韓国の友人に直接聞いてみました。残念ながら、両国とも経済発展の陰で、幼児虐待が増えているのです。子供達の通学は両国とも一部の私立学校を除き、日本と同じように徒歩、公共の交通機関が利用されています。治安は全体的にアメリカよりはるかに良いのです。更に台湾では、落したスマホなどが警察を経由して戻って来るほどに治安が良くなるという面も現れているのです。

日本の高度成長は物作りで達成され、日本人の多くが「中流」と自負するところとなりました。その頃台湾や韓国も懸命に働きました。ずっと続くと思われましたこの「中流社会」は、経済の成長が止まり、格差社会へ突入したのです。規制緩和という美名の下、アメリカ社会への右習いが強要され、雇用の流動化や非正規化が進みました。日本でコンピューターのソフトの販売会社を興して成功したビル・トッテン氏は、20年前の1998年「アメリカ型社会は日本人を不幸にする」という本を出版し、「実力主義」は日本に合わないと言っていました。更なる効率化を求めニューエコノミー、金融ビッグバンの時代に入ると絶望的な実力主義、弱肉強食の社会が進み、幸せを感じられるのはほんの一握りの人となり、人間の心の有りようが、ひどく荒んで行くことになると警鐘をならしました。出来るだけ自分の周りには貧しい人や面倒な人には居て欲しくないという風潮が強くなって、伝統的な日本の社会形成とは異なる方向にどんどん進む恐れがあるのです。

新しい年号令和には、「和」が入り、日本の国書を出典としたことで、私の願いが2つも達成されました。多くの識者からの見解の中で、「美しい日本の下で、日本の平和と世界の平和を希求するもの」との簡単な論評に感動を覚えました。かつて「美しい日本」を提唱した首相がおりました。だが、具体性に欠けると評判はよろしくありませんでした。「美しい日本」とは、今後日本人が作り込んで行くものです。

ケネディー大統領が「国があなたに何が出来るかを問うのではなく、あなたが国に何が出来るかを問え」と訴えたことに相当する高いビジョンだったのです。この「美しい日本」というビジョンの下に多くの人が、日本の良き伝統に思いを致して、高度金融資本主義社会の陰の部分、弱点を修復して行けば、弱者救済、弱者縮小、いじめ減少に持って行けるのではなかろうかと、令和の世に期待するところです。

第二例会報告

古賀 健一郎

日 時：4月25日（木）17:00～18:30
 場 所：横浜中央YMCA 801号室
 出席者：青木、伊藤、金子、古賀、古田
 協議・確認・検討事項
 今後の行事予定の確認

- 1) 5月9日（木）の第2木曜日には、第4木曜日に代えてクラブ役員会(第2例会)
- 2) 5月18日（土）とつかクラブ25周年記念会には伊藤、金子、古田が出席予定。
- 3) 7月11日（木）横浜クラブ7月第1例会（総会）は部長公式訪問日程に関わらず、実施する。

協議・報告事項

- 1) 6月例会は今年度の反省と次年度計画・予算の概要を話し合う。第1例会で意見を聴き、第2例会でまとめた。
- 2) 5/2まで 部長にクラブ活動報告を提出（50秒の原稿・写真）。5/5まで 古賀EMC主査に出席率を提出。
- 3) 今村ワイズから今期末で退会の申し出があり（古田会長に口頭で）本役員会で了承した。今村ワイズの長年に亘るクラブへの貢献に鑑み、ご本人の意向をお伺いした上で、感謝会を企画したい旨申し合わせた。
- 4) 横浜クラブ90周年記念行事実施に伴う基本的な構想の説明が金子ワイズからあった。



担当主事 青木 一弘

■青い地球を、未来へつなぐ「EARTH HOUR 2019 in Yokohama」に参加しました！

3月30日（土）に横浜市呼びかけで横浜中央YMCAも「EARTH HOUR(アースアワー)」に参加しました。世界中の人びとが、「美しい地球を残したい!」、「地球の環境を守りたい!」という想いから、同じ日・同じ時間帯にあかりを消してバトンをつなぐプロジェクトです。世界中の人びとが同じ日・同じ時刻に消灯することで地球温暖化防止と環境保全の意志を示す、ソーシャルグッドプロジェクトです。消灯リレーは、時差によって、ぐるりと地球を1周していき、東京タワー、エッフェル塔、ロンドンアイ、アクロポリスなど世界各地を代表する17,900を超えるモニュメントが消灯していきました。みなとみらい21地区を中心に市内の多くのモニュメントや事業所が、この日20時30分からの1時間、照明を消すことで、地球温暖化防止や世界規模の環境キャンペーンに協力していきました。横浜中央YMCAでも屋上のネオン、各フロアの電気を消灯し、このキャンペーンに参加協力いたしました。

■「YCJサポーター」を随時募集しています
 横浜YMCA学院専門学校では、在籍している日本語学科の留学生をボランティアとしてサポートしていただく「YCJサポーター」を随時募集しています。1対1で学生と会話をしていただくチューター活動、ゲストスピーカーやビジターとして授業に参加していただくクラス支援活動、日本語学科

が主催する行事に参加していただく交流活動等、様々なサポートの方法があります。現在、チューター活動は、学生からの希望が増えているため、是非多くの方々のご登録をお待ちしております。毎月登録説明会を行っておりますので、ご興味のある方はお気軽にお電話でご予約の上、ご参加ください。（資格は不要です）



【登録説明会日程】

2019年06月11日（火） 15:30-16:30
 2019年07月20日（土） 10:30-11:30

※日程が合わない場合は、お気軽にご相談ください

（問い合わせ） 横浜YMCA学院専門学校 日本語学科
 TEL. 045-661-0080

5月例会プログラム

日時：5月24日（金）13:30～25日（土）10:30

場所：富士山YMCA

出席者：つづき、つるみ(仮称)、横浜クラブ

第1日 24日（金）

13:30～15:00 例会

- ・「富士山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジについて」 村田 彰宏 所長
- ・「横浜クラブの歴史について」 金子ワイズ
- ・「クラブライフの楽しみ方」 懇談

15:00～17:00 竹の子掘り、食事準備

17:00～20:00 夕食（バーベキュー）

第2日 25日（土）

7:30～7:45 早天黙想会

8:00～9:00 朝食

9:00～10:30 散策・解散

Happy Birthday 齋藤宙也 (19)

例会報告：金子ワイズ

6月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
1-2			東日本区大会	東京
4	火	19:00	Y-Ys 協議会	中央Y
13	木	18:30	第一例会	中央Y
15	土	14:00	第4回部評議会	中央Y
16	日	16:00	横浜つるみチャーターナイト	鶴見中央 地域プラザ
27	木	17:00	第二例会	中央Y

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA青木一弘にご連絡下さい。
 メール aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org
 電話 045-661-0080